

医療マネジメントセミナー

師弟コンビが語る！

2018年4月診療報酬改定後の影響とは？！

～答申速報から具体的対応策を探る～

2018年診療報酬と介護報酬のW改定における地域医療構想策定、地域包括ケアの深化・推進の諸施策が医療機関にもたらす影響を、施行後の答申速報を踏まえて考察します。ベテラン診療報酬コンサル石上氏&相馬中央病院で医事課長として活躍する立谷氏に、新たな病院経営戦略を実務レベルで解析していただきます。

日時 2018年4月27日（金）13時15分～17時15分（受付開始 12時45分）

参加費 1人 ¥ 8,000（同一機関2名以降は ¥ 5,000）

会場 AP東京丸の内 東京都千代田区丸の内1-1-3日本生命丸の内ガーデンタワー3階

申込 ※詳細は裏面をご覧ください

プログラム

13:20～ 15:20	I. 平成30年診療報酬・介護報酬同時改定の影響 前回に引き続き実質マイナス診療報酬改定によって医療機関が何を選択したか。入院基本料の改定で急性期、回復期、慢性期病床の対応、外来包括報酬の選択、在宅医療における減収回避等々、今回の同時改定でおきていることを解説します。	株式会社エム・アール・シー 代表取締役 石上 登喜男 氏
15:30～ 16:50	II. 待ったなしの病床再編 ～医療・介護制度同時改革の影響と具体的対策～ 2025年に向けた医療提供体制の改革において、重要な位置付けとなった2018年度改定。民間の中小病院はどうやって生き残りをかけていけば良いのか？ 現場での対応に頭を悩ます中、その具体的対策の一例を紹介します。	医療法人茶畑会 相馬中央病院 医事課長 立谷 重隆 氏
16:50～ 17:10	III. 本日を振り返って	株式会社パースジャパン 経営コンサルティング部 部長 佐藤 勝浩

石上 登喜男 氏



法政大学経済学部卒業
 神奈川県内民間病院にて医事課長、事務次長を歴任
 平成元年医療事務コンサルタントとして独立
 株式会社 エム アール シー 代表取締役
 国公立を含む医療機関の保険請求漏れ査定減点対策、病棟編成・施設基準の見直し、などを中心にコンサルティング活動を行っている。

立谷 重隆 氏



宇都宮大学工学部で学ぶ
 福島県の相馬中央病院 総務課・医事課勤務にて診療報酬改定に関わる。その他、介護保険の導入の対応、老健施設・訪問看護ステーションの設立、介護報酬改定からオーダーシステム導入まで、常に現場で対応。また、当地域は震災で大きな被害を受けたが、その後の人口の急激な変動に今も対応中。その経験を活かして、主に中小病院の立場で、診療報酬関係のセミナー・講演・執筆等活動を行っている。